

令和6年度 鷹山地区まちづくり座談会における質問・要望事項と回答
令和6年6月24日(月) 午後7:30~9:00 (白鷹の杜たかやま)

町からのテーマ【第6次白鷹町総合計画後期基本計画の策定について】

《質疑応答》

Q. 御影沼は5年ほど掛かって完成したが、大沢沼が決壊し使えない状態。今年は雪も少なく水不足が続いている。県でも話が上がったことがあったが途中でなくなったので、何とかしてほしい。

A. (町長) 前任者からは大沢沼は使っている方がいないとのことで、廃止の取り組みをしたと聞いた。現場や大沢沼の役割を確認して再度検討していきたい。

Q. 大沢沼は使っていないと町長から話があったが、水害で決壊した際に、補修は相当なお金が掛かることから出来ないと言われそのままにしている。決壊したままで再び大雨が降れば水が下流に流れ、大洪水になることも考えられる。

A. (町長) 洪水調整ではなく農業用のため池として存在しているため、一度現場を確認させていただいて方向性を出したい。

Q. 滝野東小手沢地区(小手沢の国道側一帯)で基盤整備の話が出ている。会議に参加したことがあるが、町も県も誰がするのかという話になった。土地は国が守るべきもので個人で守るものではない。担い手がないから基盤整備しないという考えでは土地は守れないと思う。誰でも使える状態にするのが土地を守ることだと思う。

A. (町長) 基盤整備や土地を守るのは国だという話が出てくるが、経済活動も伴ってくる。利便性が高まるほど効率化が進むので、町も県も様々な応援をするが、経済活動に誰が携わるのかという話が出てくると思う。基盤整備は公金による支援であり、担い手は必要。まずは後継者について取り組むのが一番大きな流れになると思う。今の経済の流れの中では、国が全てをやるということにはいかないことを理解いただき、要望をお聞きしながら1つずつ解決していくよう努力していきたい。

Q. スキー場に除草剤散布した時にイノシシだと思われる穴が多く空いていた。対策は考え

ているのか。

A. (町長) まだ完成はしていないが、ハバネロを昨年栽培した。山に植林してもすぐに食べられてしまうため、辛い物を滲ませたロープを回すことを考えている。効果がどれほど持つのかもわからない。実験をしているがまだ成功していないので前向きに取り組んでいきたい。

Q. スキー場を夏も滑れるようにしたり、眺めも良いのでキャンプ場等に出来るような対策をやっていたきたい。

A. (町長) 前向きに検討したいが資材が高騰していて簡単に進めることが出来ない状況。まずは年間2、3回転できるような花の植栽を考えており、少し実験をしている。イノシシ等が入ってきていたとなれば手立てが必要になるので、現場を見ながら対応していきたい。

地区からのテーマ【今後の紅花作付けの対応について】

《質疑応答》

Q. (商工観光課作成資料裏面) ②滝野区 荒砥駅裏の栽培面積が6.3aになっている。他に広く作っている方がいるが把握しているのか。

A. (商工観光課長) こちらは修景用の紅花としての申請をいただき、委託という形で修景の出来により委託料の支払いをしているもの。資料には載っていない出荷用に栽培している方もいる。修景用の委託の中にはあがっていないということで把握している。

Q. (※前の続き) 日本の紅をつくる町ののぼり旗を掲げていたのでどういうものかと考えていた。

A. (商工観光課長) 今現在把握しているのは修景用として把握しているもの。詳細については再度確認をする。

Q. (商工観光課作成資料裏面) ②滝野区 滝野交流館の栽培面積が今年は0aとなっている。昨年まで作っていたが連作障害のようで、今年は菜の花を植えた。紅花に戻したいと考

えているが、生育が良いという土壌改良剤は無償で提供してもらえるのか、購入をして作付けをするのか教えてほしい。

A. (町長) 国土防災さんに土壌を調べてもらったところ、非常に数値が高い部分があった。数値を下げるために中山地区で土壌改良をさせていただいた。まずは効果を検討してから。日本の紅をつくる町とさせていただいている以上、土壌分析を含めた色々なことに取り組み、町が責任を持って取組をしていきたい。また、紅餅、乱花の単価の安さ、耕作者の高齢化などは検討していかなければならない部分。連作障害における土壌改良は前向きに検討していきたい。

Q. ヤナ公園の南側と北側に紅花を作っているようだが、あゆ茶屋に大勢の人が来るのに雑草だらけである。人材が足りないのであればシルバー人材に頼むなどして綺麗にしてほしい。

A. (商工観光課長) ヤナ公園の部分については白鷹観光開発さんで栽培をさせていただいている部分なので、頂いた意見はこちらからお伝えさせていただきたい。

Q. 紅花について、後継者はおらず技術的にも難しいものである。産業的に合わないので、若い人がやってみようと思わない。今は個人の取り組みだけに期待をして産業的に大きくする環境ではないと思う。耕作者のやる気や世の中の空気を変えていくためにも町の今後の姿勢をお聞きしたい。

A. (町長) 紅花耕作は大変な作業であり、若い人が積極的に取り組むものではないと自分でも思っている。町の産業として取り組むには、議会も含め、町の相当な覚悟が必要である。今しばらく時間を頂き、皆さんと総合的にお話をさせていただきながらどういう方法ならやれるのか前向きな結論を出していきたい。割に合わないところもあるが、皆さんのお手伝いがなければ出来ないものであるので、頑張らせていただくが何卒今しばらく猶予をいただきたい。

その他

Q. 去年も話したが、猟友会に入っていて補助金はもらっているが、アオサギの退治や射撃訓練等があり、弾の数も増えているため維持が大変である。弾の高騰もあるので支援をお願いしたい。

A. (林政課長) 前任者からも話を聞いており、鳥獣対策協議会で何か出来ないか考えていきたいと思っている。期待をしてお待ちいただきたい。

A. (町長) 有害鳥獣の対応に出動した場合の手当や、弾を買う際の支援等、猟友会の方々と話をさせていただき皆さんの意に沿うような形にさせていただきたい。議会とも話をさせていただき、出来るだけ早い対応が出来るように頑張っていきたい。

Q. 罾について、各地区に支給なったと聞いたがそれについてお聞きしたい。

A. (林政課長) 今回の議会で、各地区に4つずつ箱ワナが設置出来るように通してもらった。イノシシの場合、ほとんどは東側に現れるため、東側に多めに設置することも考えられる。見回りやえさやりをお願いすることも出てくる。その点も考えながら出没が多いところに箱ワナを設置していきたい。

Q. 孫が小学校に入学したが洋式トイレが一つしかなく大変だったとのこと。全国的に洋式化への話題が出ている。町としての状況や改善されているのかについてお聞きしたい。

A. (教育次長) 小学校の洋式は1つ。中学校では洋式化に向けて取り組むことになっている。小学校についても意見を踏まえながら検討していきたい。

A. (町長) 現在、中学校は体育館を全面的に改装したいということで床の張替えやペアガラス、クーラーについて取り組んでいく。小学校については全教室にエアコンがついたが、トイレについては全体的に順次直していきたいということは伺っているが、個別にはお聞きしていなかった。今後すぐに全てを洋式化にすることは難しいかもしれないが、国の補助を活用し、出来るだけ早く洋式化に向けて対応を検討させていただきたい。